

2022年度 環境経営レポート

(対象期間：2022年4月1日～2023年3月31日)



管工事・管理・清掃・廃棄物

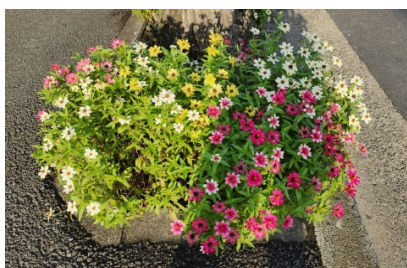
株式会社 神奈川保健事業社

2023年6月30日発行



目 次

1 . 組織の概要	P 2
2 . エコアクション21認証・登録範囲	P 6
3 . 環境経営方針	P 6
4 . 環境経営目標	P 7
5 . 環境経営計画	P 8
6 . 環境経営計画に基づき実施した取組み内容	P 9
7 . 環境経営目標及び環境計画の実績・取組み結果とその評価	P 11
8 . 環境関連法規等の遵守状況の確認及び、評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	P 13
9 . 代表者による全体の評価と見直し・指示	P 13



表紙の写真：百日草

撮影場所：本社前

1. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者名

株式会社 神奈川保健事業社 代表取締役社長 西之宮 聡
エコアクション21代表 取締役副社長 高橋 秀美

(2) 事業規模

設立1956年7月25日 資本金 5,000万円

	全社	本社	福浦サウルスセンター	箱根支店
各事業所代表者	取締役副社長 高橋 秀美	取締役副社長 高橋 秀美	常務取締役 進藤 隆次	取締役（管理兼 総務） 田代 賢一郎
売上高（百万円）	3,287	2,351	772	164
人員（人）	77	53	20	4
事務所床面積（m ² ）	1686.62	1,252.19	272.71	161.72
倉庫床面積（m ² ）	120.13	45.60	74.53	—
事業場床面積（m ² ）	694.5	—	694.50	—

*本社の内訳 建設工事関係 工事件数 161件 工事関係者 10名
工事関係売上高 912百万円

(3) 組織所在地

本社	横浜市金沢区鳥浜町4番地18
福浦サウルスセンター	横浜市金沢区福浦二丁目17番13号
箱根支店	足柄下郡箱根町湯本205番17

(4) 各事業所の事業活動

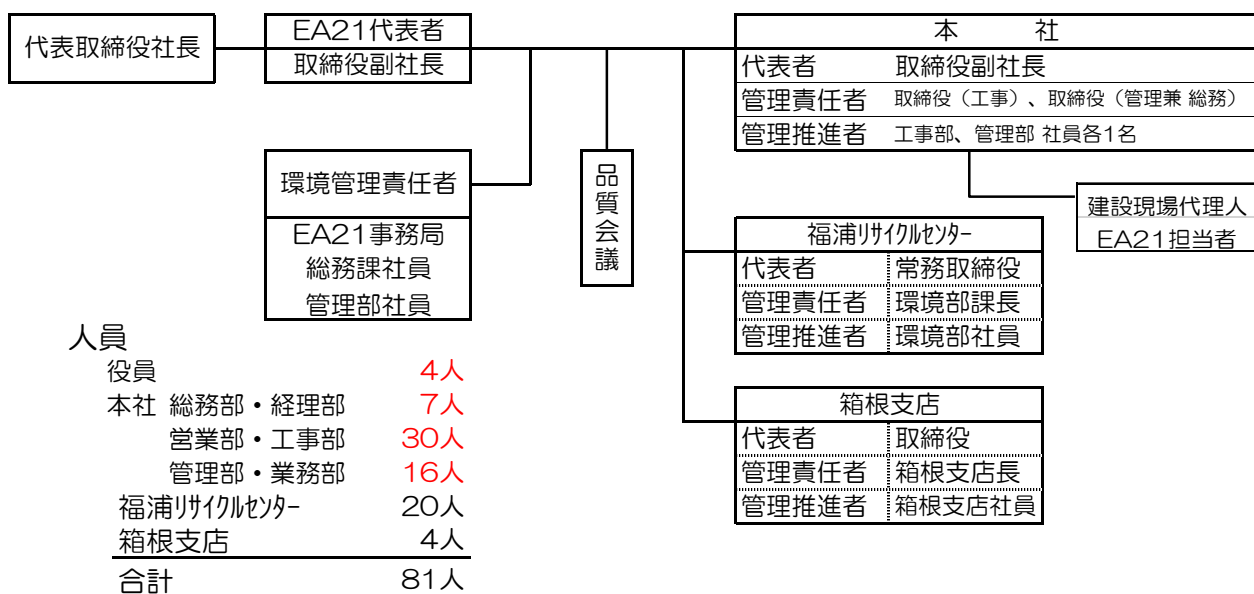
本社	給排水衛生設備及び空調設備工事、貯水槽清掃、水道施設維持管理、清掃、設備修繕、施設管理、その他付帯する業務
福浦サウルスセンター	産業廃棄物収集運搬、中間処分、一般廃棄物収集運搬、
箱根支店	浄化槽清掃保守管理、貯水槽清掃、ビル管理、その他付帯する業務

(5) エコアクション21事務局

全社 環境管理責任者 田代 賢一郎・滝藤 哲夫

事務局 御園 陽子・榊原 章人 連絡先 TEL 045-772-1431 FAX 045-772-1436

(6) エコアクション21推進組織図



(7) 役割表

職務	主な責任と権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針を制定し、誓約する 管理責任者等を任命する 環境システムの構築、運用、維持、改善に必要な資源を準備する 効果的で必要十分な実施体制を構築し、役割、責任及び権限を定め全従業員に周知する 経営における課題とチャンスを整理し、明確にする 環境経営全体の取組状況を評価し、総括的な見直し、必要な指示を行う
管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境システムの構築、運用、維持、改善を行う 環境レポートを作成し、公表する エコアクション21に関して外部と連絡・調整する 代表者への環境システムの運用状況を報告する
管理推進者	<ul style="list-style-type: none"> 当該事業所に関する環境システムを効果的に運用、維持、改善するため管理責任者を補佐し、環境保全活動を推進する。 当該事業所に関する環境システムに関するデータを収集・管理する 環境関連文書及び記録を管理する
建設現場代理人	<ul style="list-style-type: none"> 当該建設現場における環境負荷を適正に管理し、従業員及び協力会社の環境保全活動を推進する
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境システムを効果的に構築、運用、維持、改善するため管理責任者を補佐する 環境システムに関するデータを収集、管理する 環境関連文書及び記録を管理する
全社員	<ul style="list-style-type: none"> エコアクション21活動を行う 環境関連法規の遵守、社内ルールに基づき行動する

(8) 主な許可の内容

① 本社

建設業 国土交通大臣許可 第27051号	
(管工事、鋼構造物工事、塗装工事、建築工事、防水工事、電気工事、内装仕上工事)	
その他	給水装置工事業、排水設備工事業、建築物飲料水貯水槽清掃業、建築物清掃業、建築物排水管清掃業、浄化槽保守点検

② 福浦サイクルセンター

種類	自治体名	許可番号	許可年月日～有効年月日	優良基準
浄化槽清掃業許可証	横浜市	第2029号	昭和47年2月1日～	
一般廃棄物収集運搬業許可証	横浜市	第1019号	令和4年4月1日～令和6年3月31日	適合
	鎌倉市	第22号	令和3年12月1日～令和5年11月30日	
	逗子市	第248号	令和4年7月1日～令和6年6月30日	
産業廃棄物収集運搬業許可証 (積替・保管を除く)	神奈川県	01402023789	平成28年11月1日～令和5年9月19日	適合
	東京都	第13-00-023789号	令和3年8月19日～令和10年8月18日	適合
	埼玉県	01100023789	平成28年11月1日～令和5年10月23日	適合
	千葉県	第01200023789号	令和元年8月30日～令和8年6月22日	適合

取扱産業廃棄物の種類(特別管理産業廃棄物を除く)

	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	金属くず	ガラス・陶磁器他 (注)	鉱さい	がれき類	ばいじん
神奈川県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東京都	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
埼玉県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
千葉県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	○	○

(注) ガラス・コンクリート・陶磁器くず

種類	自治体名	許可番号	許可年月日～有効年月日
特別管理産業廃棄物収集運搬業許可証 (積替・保管を除く)	神奈川県	01450023789	令和元年9月3日～令和6年6月17日
	東京都	第13-57-023789号	令和元年8月8日～令和6年8月7日

特別管理産業廃棄物の種類

- ①廃油（揮発油類、灯油類及び軽油類に限る。）②廃酸（pH2.0以下のものに限る。）
③廃アルカリ（pH12.5以上のものに限る。）④特定有害産業廃棄物・・・金属等を含む特定有害産業廃棄物

種類	自治体名	許可番号	許可年月日～有効年月日
産業廃棄物処分業許可証	横浜市	第05620023789号	令和3年10月1日～令和8年9月30日

③ 箱根支店

種類	自治体名	許可番号	許可年月日～有効年月日
一般廃棄物収集運搬業許可証	箱根町	箱環第153号	令和4年4月1日～令和6年3月31日
浄化槽清掃業許可証	箱根町	箱環第154号	令和4年4月1日～令和6年3月31日

(9) 廃棄物処理業の実績、規模

① 福浦サイクルセンター 産業廃棄物処理能力

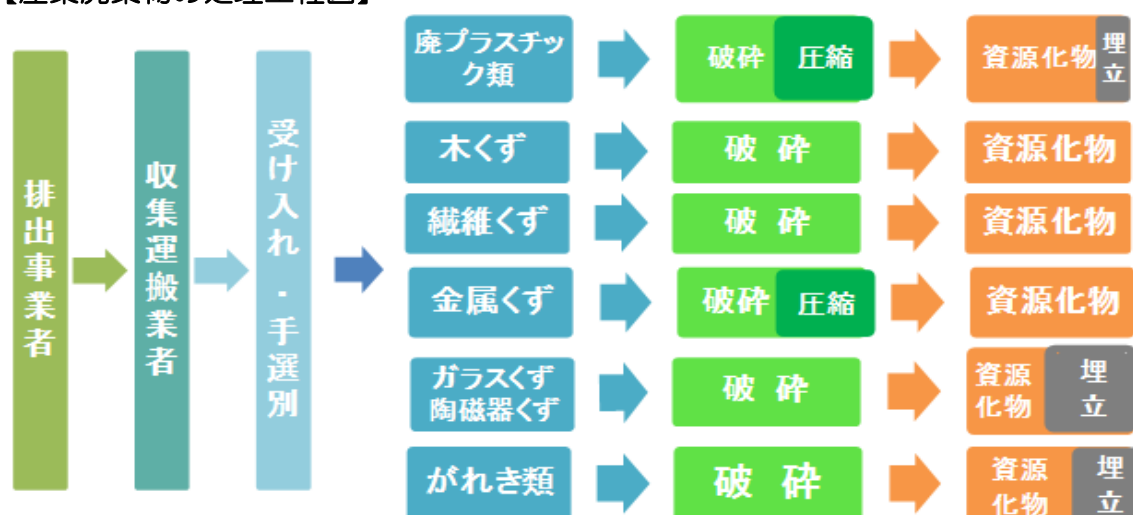
中間処理施設	基数	処理能力	産業廃棄物種類
破砕施設	1 基	4.67 t/日	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、がれき類（全8種類）
圧縮施設Ⅰ	1 基	12.96 t/日	金属くず
圧縮施設Ⅱ	1 基	17.00 t/日	廃プラスチック類

（何れも特別管理産業廃棄物を除く）

処理実績（2022年度）

処理量	収集運搬	一般廃棄物 5,477 t	中間処理
		産業廃棄物 6,041 t	産業廃棄物 4,032 t
廃棄物の処理料金	廃棄物確認後に見積書提出		

【産業廃棄物の処理工程図】



収集運搬車両

8t ダンプ車	1 台	3t 機械車	3 台
2tトラック	5 台	2t 機械車	4 台
10t バキューム車	1 台	4t アームロール車	5 台
4t バキューム車	2 台	3t アームロール車	1 台

② 箱根支店

処理実績（2022年度）

一般廃棄物（汚泥・可燃ごみ）収集運搬量	2,281 t
産業廃棄物（汚泥）収集運搬量	195 t

（神奈川県許可）

収集運搬車両

10t バキューム車（福浦兼用）	1 台
4t バキューム車（福浦兼用）	1 台
3t バキューム車	1 台
2t 機械車	1 台
2t 機械車（福浦兼用）	1 台

2. エコアクション21認証・登録範囲

認証・登録番号	0000126	登録年	平成16年度（福浦）,平成23年度（本社・箱根支店拡大）
登録対象事業所	本社・福浦リサイクルセンター・箱根支店		
登録内容	給排水衛生設備及び空調設備工事、水道施設維持管理、設備管理・修繕 一般廃棄物の収集運搬、産業廃棄物の収集運搬及び処理業 ビル管理、貯水槽清掃、浄化槽保守管理		

3. 環境経営方針

環境方針は全従業員がその内容を具体的に理解し実践できるように取り組んでいます。

理 念

当社は、低炭素社会・循環型社会・自然共生社会による 持続可能な社会の実現に向けた取り組みが大切な課題との認識を持ち、廃棄物処理業、管工事業、施設清掃・管理業等の事業活動を通じて常に環境保全を考慮して地域社会に貢献します。

基 本 方 針

1. 環境保全活動の推進

経営と環境が調和した環境保全活動を推進し、継続的な改善を図ります。

特に 事業活動を通じて地球温暖化防止のための省エネルギーの推進、

廃棄物のリサイクル化に努めます。

2. 環境関連法規の遵守

環境に関連する法規等を遵守し、適切に対応します。

3. 環境保全教育の推進

従業員に環境保全に対する意識が向上するように教育し、積極的な環境活動を促します。

4. 環境活動の公表

毎年、環境活動レポートを作成しこれを公表します。

2022年4月1日

株式会社 神奈川保健事業社

代表取締役社長 西之宮 聡

4. 環境経営目標

当社では建設業、廃棄物処理業その他の事業において2022年度の実績を基準として2023年度から2025年度まで全社目標を掲げて環境活動に取り組んでいます。主な環境負荷の目標値を次に示します。

※各使用量は、前年度より0.5%減少（ガソリンのみ1%減少、リサイクル率は0.5%増加）する数値を設定。

環境負荷の総量目標

（排出係数：2019年より
0.544kg-CO₂/kwhを使用）

環境負荷項目		事業所	単位	2022年度 実績	2023年度 目標	2024年度 目標	2025年度 目標	
二酸化炭素	電力 (0.5%削減)	本社 (事務所)	kwh t-CO ₂	72,189 39.3	71,828 39.1	71,469 38.9	71,112 38.7	
		建設現場	kwh t-CO ₂	32,762 17.8	- (※) - (※)	- (※) - (※)	- (※) - (※)	
		福浦	kwh t-CO ₂	58,268 31.7	57,977 31.5	57,687 31.4	57,398 31.2	
		箱根	kwh t-CO ₂	19,093 10.4	18,998 10.3	18,903 10.3	18,808 10.2	
	ガソリン (1%削減)	本社	ℓ t-CO ₂	46,685 108.3	46,218 107.2	45,756 106.2	45,298 105.1	
		福浦	ℓ t-CO ₂	8,067 18.7	7,986 18.5	7,907 18.3	7,827 18.2	
		箱根	ℓ t-CO ₂	466 1.1	461 1.1	457 1.1	452 1.0	
	軽油 (0.5%削減)	本社	ℓ t-CO ₂	6,317 16.3	6,286 16.2	6,254 16.1	6,223 16.1	
		福浦	ℓ t-CO ₂	141,984 366.3	141,274 364.5	140,568 362.7	139,865 360.9	
		箱根	ℓ t-CO ₂	17,767 45.8	17,679 45.6	17,590 45.4	17,502 45.2	
	灯油 (0.5%削減)	箱根	ℓ t-CO ₂	36 0.1	36 0.1	36 0.1	35 0.1	
	都市ガス (0.5%削減)	本社	m ³ t-CO ₂	443 1.0	441 1.0	439 0.9	436 0.9	
	プロパンガス (0.5%削減)	福浦	kg t-CO ₂	91 0.3	91 0.3	90 0.3	90 0.3	
	合 計			t-CO ₂	657.1	635.4	631.6	627.8
給排水	上水 (0.5%削減)	本社	m ³	483	481	478	476	
		福浦	m ³	1071	1066	1060	1055	
		箱根	m ³	334	332	331	329	
	合 計			m ³	1888	1879	1869	1860
廃棄物	一般廃棄物 (事務所) (0.5%削減)	本社	t	4,278	4,257	4,235	4,214	
		福浦	t	0,650	0,647	0,644	0,640	
		箱根	t	1,110	1,104	1,099	1,093	
	合 計			t	6,038	6,008	5,978	5,948
	産業廃棄物 (事務所) (0.5%削減)	本社	t	1,387	1	1	1	
		福浦	t	0,299	0,298	0,296	0,295	
箱根		t	0,025	0,025	0,025	0,025		
合 計			t	1,711	1,703	1,694	1,686	
グリーン購入	エココピー紙	全社	%	100	100	100	100	
	エコ名刺紙		%	0	0	0	0	
	グリーン購入法 適合率		%	100	100	100	100	
化学物質の 適正管理	ビューラックス ハイトクリーン	本社 箱根	購入量・使用量 購入量・使用量	適正管理 適正管理	適正管理 適正管理	適正管理 適正管理	適正管理 適正管理	
産業廃棄物の 中間処理	処理量 リサイクル率	福浦	t %	4032 89.7	－ 90.2	－ 90.7	－ 91.2	
建設副産物の リサイクル率	リサイクル率	本社	%	80.0	80.5	81.0	81.5	

（※）建設現場の電力目標（2023年度～2025年度）は基準が変わるため設定せず、目標合計に含んでいません。

5. 環境経営計画

全社の環境保全に向けた次期取り組み内容

項目	推進内容	活動内容に伴う働きかけ	実施時期	担当
1 電気使用量の削減 (前年度比0.5%削減) SDGs ロゴマーク 7、12に対応	不要な箇所の消灯の実施	終業時点検表にて消灯確認	通年	全社員
	湯沸器の使用時間削減		通年	全社員
	室内エアコンの適温設定	扇風機の併用	夏季・冬季	総務
	クールビズ・ウォームビズの実施	電気使用量の周知報告		総務
	空調機室外機の日よけ設置			管理推進者
	エアコンフィルターの定期清掃		12月	管理推進者
	車両燃料使用量の削減 (前年度比ガソリン1%削減) (前年度比軽油0.5%削減) SDGs ロゴマーク 7に対応	エコドライブの推進	通年	全社員
	リモート会議等による、走行距離の削減	車両定期点検、燃料使用量の報告		全社員
	不要な積荷の削減、こまめな点検業務・整備			全社員
	車内エアコンの適温設定			全社員
2 総排水量の削減 (前年度比0.5%削減) SDGs ロゴマーク 6に対応	洗車時の節水	洗剤使用量を抑える	通年	全社員
	生活用水のこまめな節水	水使用量の周知報告		総務
	貯水槽清掃時の節水			管理推進者
3 事務所廃棄物排出量の削減(紙類の削減) SDGs ロゴマーク 12に対応	混合廃棄物の分別回収の徹底	分別処理の徹底(リサイクル紙の分別)	通年	全社員
	電子保管によるペーパーレス化			全社員
	両面コピーの活用と裏面再利用の徹底	コピー用紙使用量の周知報告		全社員
4 グリーン購入の推進 SDGs ロゴマーク 12に対応	環境に配慮した製品の使用	再生紙や環境適応品の利用	通年	全社員
	エコマークの文房具の使用	再生トナーやグリーン購入品推進		総務
	グリーン電力の購入、寄付			総務
5 化学物質の適正管理 SDGs ロゴマーク 3に対応	使用化学物質の把握・記録	本社：ビューラック、箱根：ハイライトクリン	通年	管理推進者
	専門知識を必要とする資格取得促進	浄化槽、貯水槽清掃等の資格取得		管理責任者
	貯水槽清掃後の適正濃度測定			管理推進者
6 受託した産業廃棄物の再資源化向上 SDGs ロゴマーク 12に対応	廃棄物の徹底した分別に努める	分別の徹底	通年	管理推進者
7 建設副産物のリサイクル率向上 SDGs ロゴマーク 12に対応	廃棄物の徹底した分別に努める。	端材の管理・再利用	通年	管理推進者
8 その他	自らが施工・販売・提供する製品及びサービスに関する項目			管理推進者
	受注設備の省エネ化節水化	空調機器の省エネ化、トイレ設備の節水化に努める		管理推進者
	浄化槽の適正管理	浄化槽の適正維持管理・予防保全管理に努める		管理推進者
	貯水槽の適正管理	貯水槽清掃時における節水に努める		管理推進者
	環境保全活動 (教育・地域貢献) SDGs ロゴマーク 6、12、13に対応 (※項目8共通)	1) 環境教育、環境保全活動の推進		管理責任者
		2) 地域社会と協調し、事業所周辺の美化運動の推進(緑地帯の環境管理)		管理責任者
		3) 協力会社に対し啓蒙活動を行う		管理責任者
		4) 地域団体等へ環境保全の寄付		管理責任者

(各事業所担当者) 全社 1名 本社 3名 福浦 1名 箱根 1名



6. 環境経営計画に基づき実施した取り組み内容

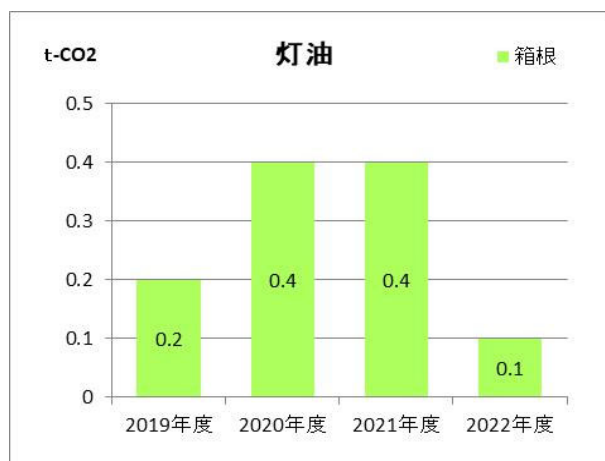
主な環境負荷の2019年度～2022年度の4年間の実績推移を示します。

二酸化炭素排出量推移

(排出係数: 2019年より
0.384から0.544kg-CO₂/kwhに変更)



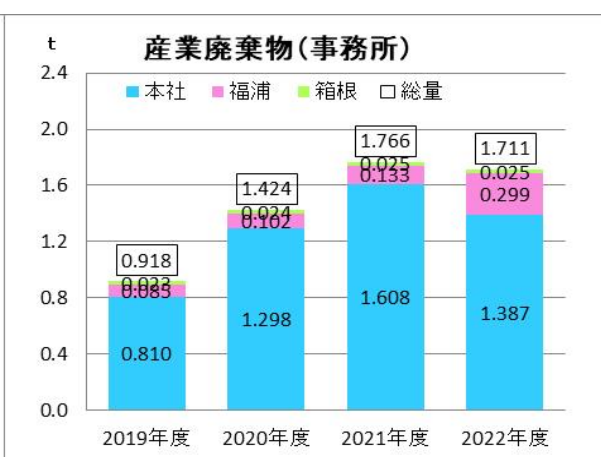
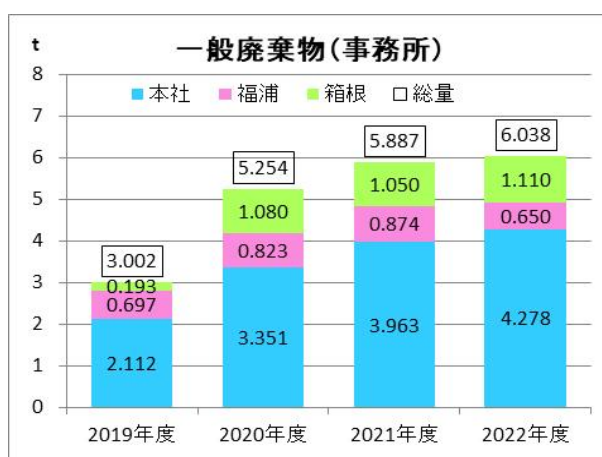
二酸化炭素排出量推移



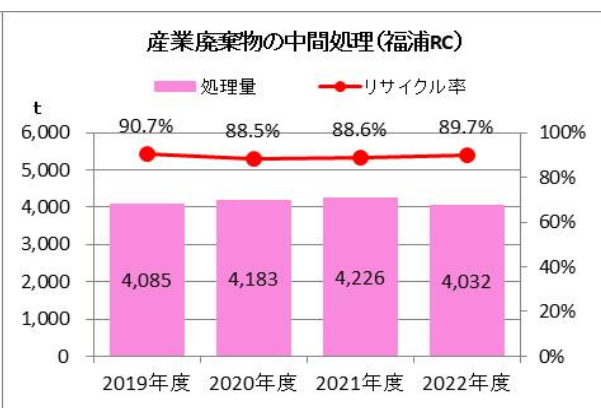
総排水量推移



廃棄物排出量推移



その他推移



7. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組み内容とその評価

○：達成 △：ほぼ現状維持 ×：未達成

環境負荷項目		事業所	単位	2021年度	2022年度			評価（取組み内容）
				実績	目標	実績	達成度	
二酸化炭素	電力	本社 （事務所）	kwh t-CO ₂	75,403 41.0	75,026 40.8	72,189 39.3	○	空調を適切に管理した。効率的な換気、こまめな消灯をおこなった。
		建設現場	kwh t-CO ₂	23,463 12.8	-（※） -（※）	32,762 17.8	-（※）	仮設物の電気使用量が増加。また工事件数が増加。
		福浦	kwh t-CO ₂	62,635 34.1	62,322 33.9	58,268 31.7	○	節電などの適切な努力に努めた為。今後も継続していきたい。
		箱根	kwh t-CO ₂	18,335 10.0	18,243 9.9	19,093 10.4	×	冬場に灯油ストーブの使用を控えた分、オール電化の空調に頼ったため。
	ガソリン	本社	ℓ t-CO ₂	45,784 106.2	45,326 105.2	46,685 108.3	×	夏場に走行中、休憩中の車内エアコンの使用 今後も車両管理と共に適切に努める。
		福浦	ℓ t-CO ₂	8,264 19.2	8,181 19.0	8,067 18.7	○	エコドライブを推進し、今後も車両管理と共に適切に努める。
		箱根	ℓ t-CO ₂	505 1.2	500 1.2	466 1.1	○	現場の状況により変動がみられる。
	軽油	本社	ℓ t-CO ₂	5,994 15.5	5,964 15.4	6,317 16.3	×	エコドライブに努め、車内エアコンも管理し 車両管理も行われ目標値を達成。
		福浦	ℓ t-CO ₂	143,391 369.9	142,674 368.1	141,984 366.3	○	エコドライブを推進し、今後も車両管理と共に適切に努める。
		箱根	ℓ t-CO ₂	18,221 47.0	18,130 46.8	17,767 45.8	○	現場の状況により変動がみられる。
	灯油	箱根	ℓ t-CO ₂	148 0.4	147 0.4	36 0.1	○	灯油ストーブの使用を極力控えたため。
	都市ガス	本社	m ³ t-CO ₂	589 1.3	586 1.3	443 1.0	○	適切に使用し、目標値を達成した。
	プロパンガス	福浦	kg t-CO ₂	98 0.3	97 0.3	91 0.3	○	適切使用に努めた。 今後も継続して管理する。
	合 計		t-CO ₂	658.8	642.3	657.1	△	エコドライブはほぼ実施された。 今後も車両管理と共に適切に努める。
総排水	上水	本社	m ³	602	599	483	○	洗車等の節水がなされ目標を達成した。
		福浦	m ³	902	897	1,071	×	回収車の悪臭や飛散防止徹底が厳しくなり、洗車や処理施設の水まき機会が増えた為。
		箱根	m ³	262	261	334	×	現場の状況により変動がみられる（散水車等）
	合 計		m ³	1,766	1,757	1,888	×	全社で節水に努める。
廃棄物	一般廃棄物 （事務所）	本社	t	3,963	3,943	4,278	×	福浦に於いてはマイカップやマイ箸など、持参ごみが出ないよう個人の意識の高まりがみられた。 今後も全社で廃棄物の削減に努める。
		福浦	t	0,874	0,870	0,650	○	
		箱根	t	1,050	1,045	1,110	×	
	合 計		t	5,887	5,858	6,038	×	
	産業廃棄物 （事務所）	本社	t	1,608	1,600	1,387	○	福浦では社員の増加に伴い弁当のプラごみ、ペットボトル、缶等の飲食ごみが増えた。 箱根では夏場にペットボトル等の廃棄量が増加した。
		福浦	t	0,133	0,132	0,299	×	
		箱根	t	0,025	0,024	0,025	×	
合 計		t	1,766	1,756	1,711	○		
グリーン購入	エココピー紙	全社	%	100	100	100	○	グリーン購入はコストを考慮した上で対応できる商品から積極的に購入している。 今後も取組みを継続する。
	エコ名刺紙		%	0	0	0	—	
	グリーン購入法適合率		%	100	100	100	○	
化学物質の適正管理	ビューラックス	本社	購入量 使用量	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理に努めた。今後も継続する。
	ハイトクリーン	箱根	購入量 使用量	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	
産業廃棄物の中間処理	処理量	福浦	t	4,226	-（※）	4,032	○	分別は推進された。今後も一層推進する。
	リサイクル率(A)		%	88.6	89.1	89.7	$\frac{3616.053}{4032.393} \times 100 \div 89.7\%$	
建設副産物のリサイクル率	リサイクル率(B)	本社	%	80.0	80.5	80.0	△	分別を推進された。今後も一層推進する。 $\frac{115.294}{144.118} \times 100 \div 80.0\%$

(※) 建設現場の電力目標(2022年度)は基準が変わるため設定せず、目標合計に含んでいません。

リサイクル率(A)は産業廃棄物の再資源化量 ÷ 中間処理量

リサイクル率(B)は建設副産物の再資源化量 ÷ 中間処理量

～当社の環境活動の取組み事例を紹介します～

1



2



3



4



- 1999年 ISO9002認証登録。ISO9001にて継続更新
- 2000年 かながわトラストみどり基金へ寄付開始
- 2004年 EA21 福浦リサイクルセンター認証登録
- 2008年 横浜型地域貢献企業認定
- 2008年 グリーン電力証書システム導入（バイオマスエネルギーを利用）
- 2011年 EA21全社認証登録（本社・箱根支店追加）、本社に電気自動車導入
- 2012年 本社の蛍光灯をLEDに交換
- 2015.9月 事業継続計画、初動対応手順書を作成（BCP）
- 2017.5月 本社の大規模修繕を実施（屋上耐熱性塗装、外壁塗装、内装リフォーム、遮光窓ガラスを設置）
- 8月 横浜DeNAベイスターズのスポンサー契約開始（継続中）
本社ISO9001：2015に移行取得
- 12月 福浦リサイクルセンターにて近隣へのゴミ飛散防止ネットを設置
- 2018.3月 子供の環境学習支援するPR用クリアファイルを資源循環局へ提供
- 4月 本社 空調設備更新工事（高効率空調機の導入）
- 7月 横浜市3R夢パートナー登録
- 2019.2月 平成30年度かながわ地球環境賞を受賞
みずほESGローン（エコロ）でエコ認定
横浜健康経営認証 クラスA取得
- 2020.2月 横浜市水道局の水源保全「ふるさと道志の森基金」へ寄付
- 4月 「かながわSDGs」パートナー登録
横浜市SDGs認証事業者として認証取得
- 2021.4月 本社・福浦リサイクルセンターでグリーン電力を使用
- 9月 日本赤十字社神奈川県支部へ寄付
- 11月 神奈川県が発行するグリーンボンドに投資を表明
金沢産業団地幹線道路一斉清掃イベントに参加
- 2022.1月 野島海岸清掃ボランティアを開始。
- 2023.4月 米軍施設（池子）にて小学生へごみの説明会を実施 **1**
- 5月 かながわトラストみどり基金への寄付に対し感謝状 **2**
「バス通り花壇コンテスト」銅賞を受賞 **3**
- 6月 横浜市からグランドスラム企業として表彰 **4**
- 10月 横浜市一般廃棄物収集運搬業優良事業者として認定
- 毎朝 本社前、福浦リサイクルセンター前、箱根支店前の道路清掃
- 毎月 品質会議で環境活動推進
- ★かながわトラストみどり基金への寄付、花壇コンテストへの参加は継続中

次年度の環境への取組みは次の通りです。

- (1) 次年度は「5.環境経営計画」に示した内容をベースとして洗車時の節水と廃棄物の削減を重点的に推進します。
- (2) ガソリン、軽油の使用量は、一層のエコドライブを推進し、リモート会議等の活用による燃料使用量の削減に努めます。
- (3) 「かながわSDGs」、「Y-SDGs」の認証事業社として、企業活動を通じた環境への貢献に努めます。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

- (1) 当社が遵守しなければならない主な環境関連法規等は次の通りです。
廃棄物の処理及び清掃に関する法律、 家電リサイクル法、
下水道法、 騒音規制法、 振動規制法、 消防法、浄化槽法
建設資材リサイクル法、金沢工業団地建築協定 等
この内、特に本社（建設業）における建設リサイクル法による現場での廃棄物の分別、再資源化、福浦（廃棄物処理業）における廃棄物処理法による適切な廃棄物の処理、家電リサイクル法による特定家庭用機器の扱い等の遵守状況を確認しました。今後も環境関連法規等の遵守に努めます。
- (2) 環境関連法規への違反及び関係当局より違反等の指摘は、過去7年間ありません。

9. 代表者による全体評価と見直し・指示

自社及び協力会社も含めて環境保全活動を推進し、各事業所の環境目標達成に向けて努力します。

特に、本社のガソリン、軽油使用量を削減するため、夏場の効果的な車内換気を奨励。エコドライブを推進。廃棄物については水筒などの利用を推奨し、廃棄物の削減に努める。受託廃棄物は分別の推進によりリサイクル率を一層向上させ最終処分量の削減に努めます。